

5. その他

< 検討課題 >

○ 森林生態系の連続性の確保

(対象となる団地: 湯湾岳、神屋、八津野、徳之島北部、徳之島中部)

< 主な意見 >

○ 将来的に、共用林や民有林と連携し、標高レベルで森林生態系の連続性を上げていくことも展開として出てくる

○ 世界遺産の緩衝地となる森林の機能強化が必要

○ 湯湾岳と神屋の連続性、八津野と低標高帯の連結の課題もある。徳之島において、北部と中央部の連携を上げること、また、中央部でも犬田布と三京あたりの連続性を上げることも重要

< 現状 >

○ 奄美群島森林生態系保護地域は、5つの団地に分断して存在

○ 奄美群島特定動物生息地保護林については、森林生態系保護地域との間に介在する民有林について、一定レベルの管理水準が確保された段階で、森林生態系保護地域に再整理することとしている

< これまでの主な取組(検討中も含む) >

・ 地域連絡会議の設置【環境省、林野庁、県、市町村】

< 対応方向 >

○ 周辺民有林における森林の取扱状況等の情報を収集すると共に、特定動物生息地保護林について、森林生態系保護地域への繰り入れを検討

